

第2回会議の検討事項の整理

検討事項1

看護学校の民営化について

検討事項2

定員数の拡大について

検討資料3

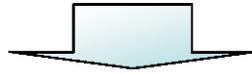
看護学校の併設について

第2回看護師養成部会の振り返り

【検討事項】

1. 看護学校の民営化について

- 意見① 加賀市民病院と学校との移動、連携を考えるとプラスの面も多く、民営化は反対である。
- 意見② 石川県下の民営施設によると実習施設、学生募集に問題があるという話があり、民営化はしないで欲しい。
- 意見③ 市の教育面から医療人を育てるという大きな使命があり、民営化はその使命から言うと逆方向である。



民営化せずに今の経営形態を維持することを強く要望

【検討事項】

2. 定員数の拡大について

- 意見① 定員数を40名に拡大すると、1人当たりの学内の機材が制限される。指定規則を満たすためには、必要機材の購入によりコストの増加が必要である。
- 意見② 今の看護学校は1クラス20名で作ったもので40名を収容することは難しく、追加の工事が必要である。実習室ももう少し広いものにする必要がある。
- 意見③ 定員数を80名に拡大するには、必要機材の購入だけでなく、教員の増員が必要になるため、現状では困難である。



定員数の拡大は40名が限度である。定員数を40名に拡大したときの必要コストを試算し、検討する。

⇒ 第3回の検討課題

【検討事項】

3. 看護学校の併設について

■メリット・デメリット(第2回看護師養成部会資料より再掲)

| | 講師の負担・学生の 実習、研修 | 建築費用 | 残債 |
|---------------------------------|---|--|----------------------------|
| ① 新病院に併設 (統合新病院の開院 と同時期に) | ○ 講師(病院の医師・看護 師)生徒の移動時間が 短く効率的 | △ 建築費用については、病 院事業債以外の有利な 財源が活用できる可能 性がある | × 残債の繰上償還が必要 |
| ② 新病院に併設 (残債の返済が終了 時に) | △ 講師(病院の医師・看護 師)生徒の移動負担の 増加 →移転時に解消 | × 建築費用については、通 常の病院事業債を活用 | ○ 移転時には残債の返済 は終了している |
| ③ 現地存続 | × 講師(市民病院の医師・ 看護師)生徒の移動負 担の増加 | ○ 現有建物を活用するた め、建築コストはかから ない | ○ 残債の繰上償還は発生 しない |

意見① 金額が大きく残債のことを考えると難しいかもしれないが、学生のことを考えると併設が望ましく、ずっと現地に存続というのは除外をしたい。

意見② 実習への学生の移動、講師の移動を考えると、同時に併設した方が良いのではないか。

意見③ 新病院に併設した方が看護学生の確保や学生の学習面を考えてもメリットは大きいと考えられる。

意見④ 看護学校の併設を強く希望するが、一方で市の大きな財政問題がある。看護学校を残すことにより病院の繰上げ償還がなくなるかどうかを調査していただきたい。



加賀看護学校の併設を強く希望する。ただし、市の大きな財政問題であるため、市の負担を勘案する必要がある。

第3回の課題

- ① 単独で運営している看護学校の事例について調査する。
- ② 北陸財務局に看護学校を残すことにより、病院の繰上げ償還が無くなるのかどうかについて確認する。